I-O DATA

ネットワークカメラ
MANU000892

必ずお読みください

レシートや納品書を大切に保管してください。レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。

【商標について】記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
【本製品の廃棄・譲渡について】本製品を初期化してください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。
【使用ソフトウェアについて】本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。
https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ユーザー登録はこちら】･･･https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品に印字されている12桁の英数字です。(例ABC1234567ZX)

【お手入れについて】レンズなど本製品についた汚れや水分などを落とす場合は、コード類を抜き本製品の電源を切ってから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
●汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、 よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニン グペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

動作環境・仕様

弊社Webページをご覧ください。

▶ https://www.iodata.jp/product/lancam/lancam/ts-ns410w/spec.htm

各種サービスのご案内

本製品の設置、設定に不安がある方向けに下記有償サービスをご用意しております。詳しくは弊社Webページをご覧ください。

●リモートサポート･･･弊社専門スタッフがインターネットを経由した遠隔操作で初期設定やトラブル解決をサポートします。
●訪問設定･･･ネットワークカメラの設定設置を、お客様のもとへ訪問してサポートします。
●有償保守(アイオー・セーフティ・サービス)･･･不具合発生時、故障品の代品を先に送付→回収する保守サービスです。
ご購入後60日以内にお申し込みください。

▶ https://www.iodata.jp/support/

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より1年間、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。
1)販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2)中古品でご購入された場合
3)火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4)お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5)接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6)取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7)合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8)弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9)弊社が寿命に達したと判断した場合
10)保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11)その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1)修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2)発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3)本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4)弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1)本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2)弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3)本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア	https://www.iodata.jp/lib/
電話でのお問い合わせ	**050-3116-3014** 受付 9:00～17:00 月～日曜日(年末年始・夏期休業期間をのぞく) ※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。
メールでのお問い合わせ	https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/network

ペイバックシステムについて

「ペイバック保証」は、ご購入後、2週間以内に弊社サポートセンターへご相談いただいたにも関わらずネットワーク接続ができなかった場合、当社が直接、購入代金をご返金するサポートシステムです。手続き等、詳細は弊社サポートセンターにお問い合わせください。

修理の流れ

保証期間1年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込(申込番号発行)	修理センターに送付	検査	有償時のみ見積連絡	修理	修理品返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、
申込番号の代わりに[名前・住所・TEL(FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

□ 商品一式
□ 申込番号を書いたメモ(Web申込時に発行された番号)
□ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

⃠	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告

⃠ 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⃠ 雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

⃠ ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

⃠ 本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

❗ 煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使うのを止める
コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

⃠ 本製品の周辺に放熱を妨げるようなものを置かない
発火の原因になります。

⃠ 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

⃠ 本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

⃠ 本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

⃠ ペースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の近くで使用しない
ペースメーカーや医療機器、産業・科学機器等の動作に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

⚠ 注意

⃠ 人が通行する場所や高さに設置しない
けがの原因になります。

⃠ 長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、製品本体が熱く感じる場合があります。

⃠ 本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

⚠ 警告（電源について）

⃠ ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となりますので、指定品以外のものは使用しないでください。

⃠ AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

⃠ ACアダプターやコードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

⃠ ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

⃠ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

⃠ 添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コード、給電ケーブルは、本製品専用です。

❗ コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

⃠ じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

⃠ 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

❗ 煙が出たり、変なにおいや音がしたら、すぐにつないでいる機器から取り外す
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

❗ テーブルタップを使用するときは定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

使用上のご注意

■ 本製品は人命や盗難事故などを本製品単独で防止するものではありません。人命や財産に損害が生じる事件・事故が発生しても、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■ 本製品は防水・防塵仕様ではありません。屋内で使用してください。
■ 本製品を設置・ご利用いただく前に、被写体のプライバシー（音声含む）や肖像権などを十分にご考慮ください。
■ 映像の中心が本製品正面から若干ずれている場合がございますが、製造上の公差の範囲であり、故障ではありません。
■ 通信環境や表示端末の性能により、設定したfpsの値がでない場合があります。コマ送りのように見える場合は解像度を下げてお使いください。
■ 外部のネットワークから本製品の映像を見る場合は、インターネット接続環境が必要です。
■ 動作検知は、本製品が撮影した画像内の変化を検知します。暗くなると正しく検知しにくくなる場合があります。
■ プッシュ通知、およびメールによる通知は、検知してから届くまでに数分程度かかる場合があります。
■ 録画について
・事前に試し録画をして、正常に録画されることを確認してください。
・連続録画設定を有効にして録画したときは、前の録画と次の録画の間の数秒間は録画されません。
・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、録画された内容が消去されてしまう場合があります。
・LAN DISKやmicroSDカード内に保存された重要なデータについては、必ず定期的にバックアップをおこなってください。接続製品の保存データの毀損・ 消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。
■ microSDカードに画像、録画データを保存する場合は、高耐久性のmicroSDカードをご利用いただくことをお勧めします。microSDカードは、長時間ご使用になると部品の劣化などによって正常に動作しなくなることがあるため、定期的に交換をおこなってください。長期間の録画には、LAN DISKの使用が最適です。
■ 5GHz帯対応製品の場合のみ
● 本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。法令により、5GHz帯W52（36,40,44,48ch）、W53（52,56,60,64ch）を屋外で使用することは禁止されています。5GHz帯のW56（100～144ch）は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品でW56のチャンネルを指定した場合でも、レーダー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz帯をご利用ください。
● 5GHz帯で使用するチャンネルは36,40,44,48ch（W52）52,56,60,64ch（W53）と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。34,38,42,46ch（J52）の装置との通信はできません。
● W53（52,56,60,64ch）またはW5（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャンネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
■ 無線LANやBluetoothなどで使用する2.4GHz帯は、USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで動作させると影響を受け、通信が遅くなったり、通信が切れてしまうことがあります。
●USB 3.2 Gen 1 / Gen 2 / Gen 2x2搭載製品の近くで、本製品をできるだけ使用しないでください。
● 5GHz帯の無線LANを利用可能な場合は、5GHz帯をご利用ください。
■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。
■ 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
■ 以下の機器は本製品と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
● ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
● 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
● 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

無線LAN製品ご使用時における セキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。当社の無線LAN製品は出荷時状態ではセキュリティに関する設定がされていますが、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについてお客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。当社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

その他のご注意

1）本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2）本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3）本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
（This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.）
4）本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。